

17 付 表

1 市の歩み

年（西暦）	月	主 な 出 来 事
昭和29年(1954年)	9月	羽生市誕生(県下16番目)祝賀会を行う 初代議長 新井喜四郎氏 人口 36,564人 世帯 6,604世帯 面積 44.59km ²
	10月	市長選挙で出井兵吉氏が初代市長に当選 助役に杉田専一氏、収入役に立石計司氏が就任
昭和30年(1955年)	1月	市制施行、市庁舎竣工祝賀式典を行う 市章(市のシンボルマーク)制定
	3月	手子林小学校、川俣中学校校舎が完成
	4月	初の市議会議員一般選挙
昭和31年(1956年)	3月	羽生中学校体育館が完成 観光桜を葛西用水路堤に植樹
	6月	都市計画税を新設
	8月	大天白に市営運動場(テニスコート、弓道場)が完成
	10月	初の産業祭を開催
昭和32年(1957年)	3月	井泉小学校、新郷第二小学校増築校舎が完成 第一保育所が完成
	4月	利根川堤防引堤工事が始まる
	7月	上新郷簡易水道、北荻島簡易水道が完成、通水開始
	8月	羽生小学校にプールが完成
	9月	新郷第二小学校講堂が完成
	昭和33年(1958年)	3月
	7月	羽生中学校増築校舎が完成(鉄筋コンクリート三階建) 助役 杉田専一氏が退任
	8月	羽生、川俣、岩瀬の三中学校を羽生中学校に統合 市長選挙(杉田専一氏当選)
	10月	収入役に立石計司氏が再任(2期目)
	12月	出井兵吉翁を名誉市民第一号に推挙
昭和34年(1959年)	3月	市営し尿処理場が完成 川俣小学校増築校舎が完成
	4月	千代田村を編入(人口 44,092人となる) 須影簡易水道が完成 須影小学校、岩瀬小学校が完成(第一期工事) 県立羽生職業訓練所が開所

年（西暦）	月	主 な 出 来 事
昭和34年（1959年）	4月	市議会議員一般選挙
	7月	収入役 立石計司氏が退任 助役に立石計司氏、収入役に須藤忠司氏が就任
	9月	羽生地区上水道一部給水を開始
	11月	羽生小学校に給食室が完成（市内で初めての完全給食開始）
昭和35年（1960年）	1月	市営住宅第一期工事が完成（小須賀地区に20戸）
	3月	東武鉄道利根川新鉄橋工事が完成 市制施行5周年記念式典を羽生中学校で開催
	8月	名誉市民出井兵吉翁市葬
	9月	手子林小学校増築校舎が完成
	10月	消防署を設置、業務を開始
	12月	羽生市の上水道が完成
昭和36年（1961年）	1月	市政に市民の声を生かそうと初の市政懇談会を開く
	3月	羽生中学校、新郷中学校増築校舎が完成 須影中学校、井泉中学校屋内運動場が完成
	6月	助役 立石計司氏、収入役 須藤忠司氏が退任 集中豪雨により市街地に出水
	7月	助役に須藤忠司氏、収入役に山崎忠一氏が就任
	12月	羽生一村君間にバス路線開通
昭和37年（1962年）	3月	元町土地区画整理事業が完了 三田ヶ谷、村君小学校増築校舎が完成
	5月	昭和橋が完成
	7月	市長選挙（杉田専一氏再選） 市議会議員補欠選挙
	8月	初めての空中散布による稲作病虫害防除を実施
	9月	羽生小学校講堂が完成
昭和38年（1963年）	2月	新郷第一小学校増築校舎が完成
	3月	第三保育所が完成
	4月	岩瀬小学校、須影小学校に屋内運動場が完成 市議会議員一般選挙
	5月	秩父宮妃殿下ご来臨、母子保健センターをご視察
	9月	市立学校給食センターが完成
昭和39年（1964年）	1月	手子林中学校屋内運動場が完成
	5月	羽生駅西口広場に平和記念像、ブロンズ像ができる 市制施行10周年、文化会館落成記念祝賀式典を開催
	6月	消防団員に退職報償金を支給する条例制定
	8月	全中学校（6校）にプール完成
昭和40年（1965年）	1月	羽生駅前通り線舗装工事が完成

年（西暦）	月	主な出来事	
昭和40年（1965年）	1月	井泉中学校特別教室が完成	
	3月	第四保育所が完成 助役 須藤忠司氏、収入役 山崎忠一氏が退任	
	10月	ゴミ焼却場が完成（焼却能力は1日当り20t）	
	12月	し尿処理場が完成（処理能力は1日当り45,000人分）	
昭和41年（1966年）	1月	新郷中学校、三田ヶ谷小学校に屋内運動場が完成	
	3月	手子林中学校特別教室が完成	
	4月	定時制高校校舎が完成	
	7月	市長選挙（須藤忠司氏当選） 市議会議員補欠選挙	
昭和42年（1967年）	11月	須影小校舎増改築工事が完成	
	4月	旧町内の区域を対象に新住居表示実施 県議会議員選挙（平野宏氏当選） 市議会議員一般選挙	
	6月	東北高速道路建設工事地耐力検査（ボーリング）開始	
	8月	市民交通傷害保険制度が発足（年間1人360円）	
	10月	国体大会旗が行田市から本市にリレーされる 羽生小学校前（国道122号線）に横断歩道橋が完成 埼玉国体開催（羽生市では重量挙げ競技を行う）	
	昭和43年（1968年）	2月	都市計画用途地域の指定が決まる（市街地の大部分を住居・商業・準工業の三地域に指定）
3月		助役に三木兼吉氏が就任 埼玉用水路が完成 川俣排水路第一期工事が完成 千代田中学校校舎増改築工事が完成 須影小学校校舎増改築工事が完成 第五保育所が完成	
6月		バギオ市（フィリピン）と姉妹都市締結…6月定例市議会で決定	
8月		岩瀬小学校、村君小学校にプールが完成 市民と市長の面談日を設定し、市民の意見を市政に反映（毎月1日と15日）	
9月		東武線須影駅を南羽生駅と改名 市民の生命を守るため救急業務を開始する	
10月		教育長に大塚信一氏が就任 市交通安全対策協議会が発足	
昭和44年（1969年）		1月	市史編集委員会を結成
		2月	須藤市長バギオ市へ親善訪問、姉妹都市正式調印を行う
		3月	川俣排水路第二工事が完成 新郷第一小学校屋内運動場が完成

年（西暦）	月	主 な 出 来 事	
昭和44年(1969年)	3月	尾崎地区に産労住宅(64戸)が完成	
	5月	羽生小学校校舎増改築第一期工事が完成 明治百年を記念して産業、教育、文化、体育、善行賞を制定(6氏を表彰)	
	7月	バギオ市長一行が本市を親善訪問 収入役に中村常四郎氏が再任(2期目)	
	8月	川俣小学校、井泉小学校、三田ヶ谷小学校にプールが完成	
	10月	姉妹都市バギオから3人の女子留学生が来羽	
	11月	東北縦貫高速自動車道埼玉県内建設工事起工式を行う(羽生弥勒地内にて) 市制施行15周年記念式典を開催 羽生千代田電話交換局が弥勒地内に完成	
	昭和45年(1970年)	5月	埼玉県羽生勤労婦人ホームが完成 市立養護老人ホーム「清和園」が完成 交通指導員が誕生→交通事故相談開始
		6月	市観光協会が発足
		7月	市長選挙(須藤忠司氏が無投票で再任) 市議会議員補欠選挙 新郷第二、須影、手子林の三小学校にプールが完成 (全小中学校にプール設置)
		8月	新しい都市計画法による市街化区域及び市街化調整区域が定められる
		10月	国勢調査で本市人口45,001人となる
12月		名誉市民に杉田専一氏、中田八十右エ門氏、金子専一氏が推挙される	
昭和46年(1971年)		3月	市民サービスの向上をはかるため市民課に「日曜窓口」を開設
		4月	不動岡女子高校校舎が大字神戸地内に完成(新入生:194名) 県議会議員選挙(永沼正吉氏当選) 市議会議員一般選挙
		7月	企業誘致第一号の日本精工と工業用地譲渡契約を締結 組合立羽生高等学校が県立高校に昇格
		8月	大沼工業団地の造成が完了
	9月	緑豊かなまちづくりを目指す市総合振興計画基本構想が6月定例会市議会で可決	
	昭和47年(1972年)	2月	県営羽生水郷公園本市への設置が決まる(用地買収開始)
		3月	第二浄水場が完成 市営住宅旭町団地が完成 雇用促進住宅団地(80戸)・・・鉄筋コンクリート造り4階建 助役に三木兼吉氏が再任(2期目)
4月		新郷を除く各農協が大団結し、羽生市農協が誕生(組合長に出井治人氏)	
6月		羽生中央公園がオープン	

年（西暦）	月	主 な 出 来 事
昭和47年(1972年)	11月	東北縦貫高速自動車道(岩槻—宇都宮間)が開通
昭和48年(1973年)	1月	羽生駅前に派出所が完成
	2月	須藤市長、檜原議長バギオ市慰霊碑除幕式へ参加 井泉小学校校舎増改築工事が完了
		市営住宅旭町団地(16戸)が完成
	4月	市立准看護学校が完成(北埼玉師会立から市立に移管)
	5月	第六保育所が開所 収入役に中村常四郎氏が再任(3期目)
		NHK新日本紀行の番組で羽生市が全国放映
	8月	市民プールがオープン
	11月	初の消防団員家族慰安会を開催 NHKのど自慢公開録画を羽生小学校で行う(12月30日放映される)
	12月	し尿処理場増設(20kl分)工事が完成…1日65,000人分の処理可能に
昭和49年(1974年)	1月	国道122号線羽生バイパスが全面開通 生活関連物資救急対策本部設置(物資不足の事態に対処するごみ追放 運動推進協議会が発足)
	4月	市消防庁舎が完成
	5月	本市初企画の春の敬老会を開催
	7月	本町通りなど初の歩行者天国実施(国道122号)…夏祭でにぎわう 利根サイクリング道路に羽生休憩所が完成
		市長選挙(須藤忠司氏無投票当選＝3期連続当選) 市議会議員補欠選挙
	10月	市商工青年部代表がバギオ市を親善訪問、姉妹都市バギオから児童画 50点が届く
	11月	NETテレビ「姉妹都市物語」で羽生市が紹介される 新市庁舎が完成
昭和50年(1975年)	3月	城沼下水路工事が完了
	4月	県議会議員選挙(斉藤圭一氏当選) 市議会議員一般選挙
		10ヵ年計画で公共下水道に着手
	6月	大沼工業団地へ進出した日本精工(株)羽生工場が操業開始 井泉小学校校舎改築工事が完了
	10月	市営無料駐車場がオープン
	11月	あだたら高原(福島県)に林間学校「市立少年自然の家」が完成
昭和51年(1976年)	1月	宮田土地区画整理事業に着手
	3月	助役に三木兼吉氏が再任(3期目) 新田土地区画整理事業が完了
		城沼土地区画整理事業に着手
	4月	新設校県立羽生第一高等学校が開校

年（西暦）	月	主 な 出 来 事	
昭和51年(1976年)	5月	羽生市史の対補を発刊	
	9月	県立羽生高等学校移設工事が完成 文学散歩のガイドブック「田舎教師と羽生」を発刊	
昭和52年(1977年)	2月	ムジナモの自生地「宝蔵寺沼」の底ざらいが始まる	
	3月	葛西用水路にかかる歩行者等専用橋が完成	
	4月	待望の羽生南小学校が開校	
	5月	田舎教師の名所誕生(建福寺に句碑、弥勒地内に田舎教師像)	
	6月	羽生被服青年会の一行、姉妹都市バギオを親善訪問 中央公園広場に夜間照明施設が完成	
	7月	収入役に中村常四郎氏が再任(4期目) 近代的な設計をこらした斎場、農村センターが完成 羽生南小学校にプールが完成	
	11月	ムジナモの自生地を生かした県立水郷公園建設が具体化	
	昭和53年(1978年)	1月	「田舎教師とその風土展」を埼玉会館で開催
		2月	羽生市交通安全母の会が設立
		3月	市営住宅宮田団地が完成
		4月	名誉市民金子専一氏合同葬(3月21日逝去) 村君公民館が完成 上水道第5次拡張事業に着手(5ヵ年継続事業) 新設消防署西分署で業務を開始 三田ヶ谷小学校校舎が完成 葛西用水路堤に遊歩道が完成
6月		市街化区域が拡大(152haを編入)される 通学路としての宮田落しの蓋掛け工事が完了 姉妹都市バギオリオンズクラブの幹部が来羽	
7月		市長選挙(須藤忠司氏無投票当選=4期連続当選)	
9月		市民プールの1シーズン入場者が10万人を突破	
11月		川俣公民館が完成	
昭和54年(1979年)		3月	岩瀬小校舎増改築工事が完成 し尿処理場増設工事が完了
		4月	統一地方選挙が行われる(県議会議員選挙及び市議会議員選挙) 保健センターが完成
	5月	小松地内で埋没古墳を発掘(人骨、直刀副葬品など数十点出土)	
	7月	装い新たな本町、上町商店街が誕生	
	9月	名誉市民杉田専一氏合同葬(9月14日逝去)	
	10月	羽生市体育館が完成	

年（西暦）	月	主な出来事
昭和54年（1979年）	11月	市制施行25周年記念式典を開催（市民憲章、市の木、市の花、市民の歌、新羽生音頭を発表）産業祭及び文化祭も盛大に行われる
昭和55年（1980年）	2月	初代市長 故出井兵吉翁銅像建立 第四保育所移改築工事が完成 総合中学校の第一弾、南中学校が完成 羽生北小学校、井泉小学校の校舎増改築工事が完成
	4月	武州織物工業協同組合が数十年ぶりに藍の栽培に乗り出す
	5月	第二次大沼工業団地進出第一号として、ペプシコーラが決定
	10月	県民体育大会第二部羽生大会が開催 （種目：バレーボール、卓球、ソフトボール、テニス）
	12月	前バギオ市長ルイス・エル・ラルジザバル氏を名誉市民とする
昭和56年（1981年）	2月	武州藍染技術保存会が、正藍の共同開発研究所を建設 井泉小学校屋内運動場が完成 新郷第二小学校舎増改築工事が完成 東中学校校舎完が成 須影公民館が完成
	4月	お種さん資料館がオープン
	6月	県営羽生水郷公園がオープン
	7月	第一回中学生大会を開催 収入役 中村常四郎氏退任（4期目）
	8月	利根川土手に田舎教師の詩碑を建立
	9月	秩父線西羽生駅がオープン
	9月	助役 三木兼吉氏退任
	10月	助役に柿沼勝司氏、収入役に岡戸英雄氏が就任
	12月	市営住宅南羽生団地が完成
昭和57年（1982年）	3月	新郷第一小学校増改築工事が完成
	4月	村君小学校特別教室が完成 西中学校特別教室が完成 岩瀬小学校屋内運動場が完成 第一保育所改築工事が完成
	7月	福島県大沼郡金山町と友好都市の締結
	8月	須藤忠司氏16年の任期を終えて退任 新市長に三木兼吉氏が当選 バギオ市長ら7人が来羽
	9月	水質浄化センターの建設工事に着手 第一回市民音楽祭が開かれる
昭和58年（1983年）	2月	城沼土地区画整理事業が完了
	3月	清掃センターが完成

年（西暦）	月	主な出来事	
昭和58年（1983年）	3月	川俣小学校新校舎が完成	
	4月	埼玉純真女子短期大学が開校	
	6月	中央公民館、コミュニティセンターが完成	
	10月	県営さいたま水族館がオープン 羽生インター建設促進期成同盟会を結成	
	11月	ふるさとさいたま百選に「埼玉水族館」「田舎教師のまち」が入選 市長らバギオ市を訪問	
	12月	第二次羽生市総合振興計画基本構想（昭和59年～70年）が議会で可決される	
	昭和59年（1984年）	1月	産業文化ホールがオープン
2月		羽生インター建設促進期成同盟会が建設大臣へ陳情 岩瀬公民館、三田ヶ谷公民館が完成	
3月		第一回羽生市民マラソン大会が、市内外から1,700人参加して開かれる	
4月		高齢者事業団が発足 旧登記所跡に学童保育室を設置	
7月		大沼土地区画整理事業が完了 NHK夏季巡回ラジオ体操会が5,000人の市民を集めて開かれる	
8月		金山町へ小学生44人を親善派遣	
9月		バギオ市へ中学生と農業技術者を派遣	
11月		名誉市民中田八十右エ門氏合同葬（10月12日逝去） 市制施行30周年記念式典を開催	
昭和60年（1985年）		3月	小林秀三生誕100年を記念してアマチュアによる市民劇「田舎教師」が上演される
		6月	保存会員により初めて宝蔵寺沼へムジナモが放流される
		7月	県営水道（行田浄水場）から県水（1日2,000m ³ ）を受水開始
	8月	バギオ市へ女子中学生、青年会議所会員ら13名が訪問	
	10月	宮田土地区画整理事業が完了 収入役 岡戸英雄氏退任 助役に柿沼勝司氏再任（2期目）、収入役に真家光正氏が就任	
11月	第一回出生、結婚、新築の記念樹が配布される		
昭和61年（1986年）	1月	東北縦貫道羽生インターチェンジの設置が国土開発幹線自動車道建設審議会で決定	
	3月	南羽生土地区画整理事業に着手 第一回中央公民館まつりを開催	
	4月	公共下水道の供用開始	
	6月	バギオ新市長ら11名が来羽	
	7月	市長選挙（三木兼吉氏が無投票で再選される）	

年（西暦）	月	主 な 出 来 事
昭和61年（1986年）	8月	図書館、郷土資料館がオープン テクノグリーン構想、利根エリア整備基本計画が策定される
昭和62年（1987年）	1月	第一回市民意識調査を実施 緑のまちづくりに向けて、グリーンフロンティア作戦がスタート
	5月	陸上競技場が完成
	8月	利根テクノグリーン構想実施計画が決定される
	9月	スポーツ都市を宣言 栃木土地区画整理事業が完了
昭和63年（1988年）	10月	第一回市民体育祭が開かれる
	3月	東北自動車道羽生インターチェンジの建設に着手
	4月	粗大ごみ処理施設が供用を開始
	3～5月	さいたま博覧会で羽生市とバギオ市（姉妹都市）を紹介
	4月	県立高等技術専門校の親校舎が完成、新たにマイコン科やOAビジネス科を新設
	5月	郷土資料館で「羽生の絵馬展」を開催 第二本町通り第二期工事が完成
	6月	市民の歌「羽生わがまち」に素晴らしい振り付け
	7月	中国杭州市長一行が親善訪問
	8月	中学校の英語指導助手として英国からバーバラさんを招へい
	9月	手子林小学校校舎増改築工事に着手
	12月	第二次総合振興計画基本構想の全面的見直し案を策定 シルバー人材センターが設立
平成元年（1989年）	2月	日中友好たこあげ大会が開催
	4月	総合振興計画「羽生21世紀計画」がスタート
	5月	陸上競技場モニュメントが宝くじ協会から寄贈 県の交通事故防止特別対策地域に指定される 常陸宮殿下が来庁、県営さいたま水族館をご視察 手子林小学校校舎増改築工事が竣工
	6月	三田ヶ谷小学校ムジナモ栽培クラブが環境庁庁官表彰受賞
	7月	学校給食センター増改築工事に着工
	8月	大相撲羽生場所が体育協会など市民の手で開催される 羽生インターチェンジが平成3年度開設に向け着工
	9月	市制施行35周年を迎え、記念行事・式典を開催 小沢丘、三村秀竹、須藤忠司氏を名誉市民に推挙
	10月	助役に柿沼勝司氏（3期目）、収入役に真家光正氏が再任（2期目）
平成2年（1990年）	4月	住民情報オンラインシステムがスタート 東部藤井上組・下羽生線が全線開通 南部幹線が一部供用を開始

年（西暦）	月	主な出来事
平成2年（1990年）	4月	最新の設備を誇る学校給食センターが完成
	5月	羽生北小学校整備事業に着手
	7月	市業務の第2・第4土曜日が閉庁に 市長選挙（三木兼吉氏が無投票で三選される） フィリピン大地震で姉妹都市バギオ市が大被害
	8月	市民からの義援金など1,222万円をバギオ市復旧資金として送金 死亡事故多発で交通事故防止特別対策地域に指定される
平成3年（1991年）	10月	花と緑の博覧会ベルギー王国出展への協力で同国大使、組織委員長が感謝の意を伝えるために来羽
	11月	世帯数が15,000世帯を達成 羽生小松台工業団地の分譲開始
	1月	印鑑登録証が磁気カードになる
	4月	県議会議員一般選挙、市議会議員一般選挙
	8月	ごみの最終処分地完成及び「ごみ問題を考える市民委員会」が発足
	9月	第二次羽生市国土利用計画がまとまる
	10月	羽生小松台工業団地進出企業33社の一部が工場建設に着手 「羽生城展」を郷土資料館で開催
平成4年（1992年）	12月	名誉市民 小沢丘氏合同葬（1月20日逝去）
	2月	ベルギー王国デュルビュイ市へ調査団を派遣
	3月	小松台工業団地立地企業の操業開始 東北自動車道羽生インター、国道125号バイパス及び県道羽生栗橋線 開通
平成5年（1993年）	9月	「田舎教師と羽生展」を郷土資料館で開催 デュルビュイ市から市長ほか視察団が来羽
	2月	勤労者総合福祉センター（ワークヒルズ羽生）が完成
	3月	新消防庁舎が完成 新しい学習空間を採用した羽生北小学校校舎が完成 高齢者保健福祉計画（ゴールドプラン）を策定 生涯学習基本計画を策定 総合振興計画「羽生21世紀計画」の一部改訂
	4月	完全土曜閉庁が始まる 羽生北小学校内に学童保育室を設置
	7月	デュルビュイ市との青少年交流事業が始まる
	10月	助役に真家光正氏、収入役に鈴木哲氏が選任される 住民基本台帳人口が55,000人に
	11月	関東高等学校駅伝競走大会を開催 「羽生市の文化財展」を郷土資料館で開催
	12月	市民によるベートーヴェン第九合唱会を開催

年（西暦）	月	主 な 出 来 事
平成6年（1994年）	1月	救助工作車を購入
	2月	西中学校体育館が完成
	3月	市議会議員の定数が3人減となり24人に
	7月	施設老朽化のため市民プールを休園し、今後の利用について検討
	8月	三木兼吉氏12年の任期を終えて退任 新市長に今成守雄氏が就任
平成7年（1995年）	11月	市制施行40周年記念式典を開催 ベルギー王国デュルビュイ市と姉妹都市調印 宮澤章二氏、木村時夫氏、掘越弘毅氏が市民栄誉賞を受賞 「羽生市40周年のあゆみ展」を郷土資料館で開催
	1月	羽生平和公園が完成
	4月	助役に室沢正孝氏が就任 県議会議員一般選挙、市議会議員一般選挙 市内循環無料バスの運行開始 第3子以上の出産祝金の支給開始 市役所内課長立候補制の実施 羽生バルーンフェスティバルを初めて開催
	5月	地域おこし事業「羽生版ふるさと創生事業資金」を交付 バギオ市との青少年交流事業が始まり、バギオ市から10名の学生が来羽、ホームステイ
	9月	第1回「ふるさとの詩」を募集
平成8年（1996年）	3月	盛年式を初めて開催
	4月	国道125号加須羽生バイパス開通
	5月	市民釣場「おおぬま」オープン
	8月	県営須影団地の入居開始
	11月	新市営住宅「利根ヒルズこすか」が完成
平成9年（1997年）	1月	中学生議会を初めて開催
	4月	市のイメージマーク・キャッチフレーズを決定
	5月	羽生駅前に小便小僧の銅像を建立、ベルギー大使や関係者を招いて 除幕式
	9月	名誉市民 須藤忠司氏の市民葬 第2回「ふるさとの詩」を募集
	10月	リサイクルショップのオープン
平成10年（1998年）	2月	市民の代表による1日市長、1日部長、1日課長を初めて実施
	4月	廃棄物減量等推進員「クリーン推進員」制度を開始
	7月	市職員の夏（7～9月）の服装カジュアル化を実施
	8月	市長選挙（今成守雄氏が無投票で再選される）
	9月	台風5号により利根川増水、堤防に亀裂被害

年（西暦）	月	主な出来事
平成10年（1998年）	10月	女性センターをリニューアル、愛称は「パープル羽生」 24時間巡回型ホームヘルプサービスを開始
平成11年（1999年）	3月	地域振興券を交付
	9月	第3回「ふるさとの詩」を募集
	10月	市民プラザがオープン 住民票等の自動交付が始まる
	11月	市制施行45周年記念式典を開催 新昭和橋橋脚部を着工 ファミリーサポートセンターが開設
平成12年（2000年）	3月	利根川運動公園アクセス道路が開通
	4月	庁内LANシステムが稼動
	10月	全国初のオフレーステーション開設
	11月	世界詩人祭第2会場となる
平成13年（2001年）	3月	情報公開条例・個人情報保護条例を制定 環境基本条例を制定
	4月	三田ヶ谷農林公園「キヤッセ羽生」がオープン
	9月	第4回「ふるさとの詩」を募集
平成14年（2002年）	2月	キヤッセ羽生がさいたま景観賞奨励賞を受賞
	5月	利根川水系連合水防演習が行われる
	6月	ワールドカップでベルギー・デュルビュイ市と親善交流促進
	7月	今成市長が無投票で3選される
	9月	独自の個人情報保護対策で住基ネットシステム接続
	10月	羽生市体育館サブアリーナがオープン キヤッセ羽生のこぶし花ビールが国際ビールサミットで金賞受賞
平成15年（2003年）	2月	羽生市のイメージキャラクター「ムジナもん」が誕生
	5月	羽生市洪水ハザードマップを全家庭に配布
	8月	行田市・羽生市・吹上町・南河原村で法定合併協議会を設置 埼玉国際ジュニアサッカー大会でベルギー・デュルビュイ市と交流を深める
	9月	小説「田舎教師」主人公のモデル小林秀三の百回忌が行われる
	10月	キヤッセ羽生のこぶし花ビールが国際ビールサミットで2年連続金賞受賞
平成16年（2004年）	2月	市内小学校全児童に防犯ブザーを支給
	3月	議員提案条例により議員定数23人を16人に削減
	5月	自主自立都市への取り組みがスタート
	7月	新しい街「南羽生」が誕生
	10月	新羽生駅舎の完成、供用開始
	11月	市制施行50周年記念式典を開催
平成17年（2005年）	3月	下川崎産業団地の区域が新たに「川崎」に町名変更 次世代育成支援行動計画の策定

年（西暦）	月	主な出来事	
平成17年（2005年）	4月	自主・自立都市の再構築第一年度への取り組みがスタート 協働による地域づくり推進事業を開始 汚泥再生処理センターが業務開始	
	9月	自主防災組織が中心となった地域別防災訓練を開始 第5回「ふるさとの詩」を募集	
	10月	羽生市観光協会推奨品制度がスタート	
平成18年（2006年）	3月	国道122号新昭和橋が開通	
	4月	市役所の休日窓口業務を開始 羽生市地域包括支援センターを開設	
	5月	今成市長が逝去 川崎産業団地へのイオンモール進出が決定	
	6月	新市長に河田晃明氏が就任	
	7月	前市長 今成守雄氏の市葬 助役に桑子安司氏が就任	
	9月	市内循環バスの廃止	
	10月	キヤッセ羽生のこぶし花ビールが国際ビールサミットで6年連続入賞 秋巡業大相撲羽生場所が羽生市体育館で行われる	
	11月	市民意識調査を実施	
	平成19年（2007年）	1月	羽生市福祉バス「あい・あいバス」を運行
		4月	岩瀬土地区画整理事業の縮小が決定
5月		市民寄付で市のイメージキャラクター「ムジナもん」等の着ぐるみが完成	
7月		市民プラザに羽生市地域職業相談室がオープン	
8月		「道の駅はにゅう」が利根川スーパー堤防上にオープン マリッジサポーター推進連絡協議会を設置	
9月		市内全域で広聴集会を開催	
11月		第6回「ふるさとの詩」を募集 川崎産業団地に「イオンモール羽生」がオープン 第50回記念県北美術展が市民プラザで開催	
平成20年（2008年）	4月	各公民館に「地域活動センター」を設置	
	6月	市職員による「ムジナもん体操」が出来上がる 中川を介した葛飾区との農業交流「葛飾・ほくさいプロジェクト」が始まる	
	8月	市内小中学校施設の耐震化100%達成	
	11月	「ムジナもん」と「いがまんちゃん」が埼玉県の「ゆる玉応援団」の団員に	
	12月	羽生市総合振興計画（ひと輝くまちづくりプラン）を策定	
平成21年（2009年）	3月	第2次男女共同参画プランを策定 第2次障がい者計画及び第2次障がい者福祉計画を策定	
	4月	災害時要援護者名簿登録制度がスタート 副市長に白石喜昭氏が就任	

年（西暦）	月	主な出来事
平成21年（2009年）	9月	武州正藍染のPRに「藍染議会」、「藍染デー」実施
	10月	「田舎教師」出版100年特別展「田舎教師の世界」を開催 全日本学校歯科保健優良校表彰で西中学校が日本一（文部科学大臣賞） バギオ市の台風被害に対し市から義援金200万円を贈呈 市のテーマソング「羽を広げて～羽生の大空へ～」、ムジナもん紙芝居、ムジナもん音頭が完成 第7回「ふるさとの詩」を募集 地域別防災訓練を市内9地区で一斉実施 池谷幸雄体操教室&体操競技演技会（'09世界選手権金メダリスト内村航平選手ほか参加）
	12月	羽生市まちづくり自治基本条例を制定
平成22年（2010年）	3月	第5次羽生市行政改革大綱を策定
	4月	羽生市まちづくり自治基本条例がスタート
	5月	河田市長が2期目を無投票当選
	7月	元プロ野球・サッカー選手を招いてスポーツ教室を開催
	8月	中学生海外派遣事業で12名が姉妹都市バギオ市を訪問
	9月	夏季の異常猛暑により埼玉県のブランド米“彩のかがやき”の品質が大幅低下
平成23年（2011年）	11月	「ゆるキャラ®さみっとin羽生」を羽生水郷公園で開催 （85キャラが参加し、5万人の来場者で賑わう）
	3月	東日本大震災で大きな被害を被る （屋根瓦の崩壊1055件や道路損壊8カ所など） 市民の協力を得て、被災地へ生活用品や援助米など多数支援
	4月	市議会議員選挙が執行され、議員定数が県内最小の14人になる
	6～8月	トップアスリート育成へ少年少女野球教室やジュニアサッカースクール開催
	9月	副市長に斎藤淳氏が就任
	11月	第2回「ゆるキャラ®さみっとin羽生」を羽生水郷公園・キヤッセ羽生で開催 （185キャラが参加し、13万5千人の来場者で賑わう） 第8回「ふるさとの詩」を募集
平成24年（2012年）	8月	市内全小中学校の普通教室にエアコンの設置工事
	10月	姉妹都市バギオ市から市長はじめ7名の代表団と10名の青少年が来羽
	11月	第3回「ゆるキャラ®さみっとin羽生」を羽生水郷公園・キヤッセ羽生で開催 （265キャラが参加し、29万5千人の来場者で賑わう） 羽生総合病院との土地使用貸借で新たに5年間の契約延長、市内存続決定 市内全地区で初の自主的な地域別防災訓練を実施（参加者2,500人以上）
平成25年（2013年）	4月	山梨県富士河口湖町と観光・経済交流協定及び防災協定を締結
	5月	姉妹都市バギオ市から4名の青少年と3名の代表団が来羽
	7月	市内全小中学校でエアコンが稼動開始し、教育環境が向上
	8月	羽生市自ら太陽光発電所を設置し、売電事業に着手
	11月	第4回「ゆるキャラ®さみっとin羽生」でマスコット集合数ギネス世界記録（376体）に認定 第9回「ふるさとの詩」を募集

年（西暦）	月	主な出来事
平成26年（2014年）	2月	大雪により農業施設の倒壊等、甚大な被害を被る （ビニールの倒壊等81棟）
	5月	河田市長が再選（3期目）
	11月	市制施行60周年記念式典を開催 第5回「世界キャラクターさみっとin羽生」を羽生水郷公園で開催 （約430キャラが参加し、41万人の来場者で賑わう）
	12月	国道122号昭和橋が4車線で開通
平成27年（2015年）	3月	永明寺古墳が埼玉県指定史跡に指定
	4月	岩瀬グローバルタウン構想スタート
	6月	河田市長が姉妹都市デュルビュイ市を訪問
	9月	副市長に三枝孝之氏が就任
	11月	第10回「ふるさとの詩」を募集 第6回「世界キャラクターさみっとin羽生」を羽生水郷公園で開催 （約380キャラが参加し、45万人の来場者で賑わう） 姉妹都市バギオ市から青少年8名と大人2名の代表団が来羽
平成28年（2016年）	8月	中学生海外派遣事業で12名が姉妹都市バギオ市を訪問
	11月	日本・ベルギー外交関係樹立150周年に際し、姉妹都市デュルビュイ市から9名の代表団が来羽。共同で石の彫刻モニュメントを制作。 第7回「世界キャラクターさみっとin羽生」を羽生水郷公園で開催 （401キャラが参加し、21万人の来場者で賑わう）
平成29年（2017年）	2月	河田市長が姉妹都市バギオ市を訪問
	3月	中川低地の河畔砂丘群桑崎砂丘が埼玉県指定天然記念物に指定
	3月	ラウンドアバウトが開通
	6月	河田市長が姉妹都市デュルビュイ市を訪問
	7月	ミルプレー市から青少年10名と大人7名の代表団が来羽
	10月	第11回「ふるさとの詩」を募集
	11月	姉妹都市バギオ市から青少年10名と大人3名の代表団が来羽 第8回「世界キャラクターさみっとin羽生」を羽生水郷公園で開催 （362キャラが参加し、31万人の来場者で賑わう）
平成30年（2018年）	5月	埼玉医療生活協同組合羽生総合病院が新築移転 河田市長が4期目を無投票当選
	7月	デュルビュイ市から青少年10名と大人3名が来羽
	8月	中学生海外派遣事業で12名が姉妹都市バギオ市を訪問
	10月	河田市長が友好交流関係協定締結都市ミルプレー市を訪問
	11月	第9回「世界キャラクターさみっとin羽生」を羽生水郷公園で開催 （325キャラが参加し、27万人の来場者で賑わう）

資料：秘書広報課

年（西暦）	月	主な出来事
令和元年（2019年）	10月	第12回「ふるさとの詩」を募集 地域子育て支援拠点「こどもひろば」を市民プラザ内に開設
	11月	市制施行65周年記念式典を開催 (311キャラが参加し、11万人の来場者で賑わう)
令和2年（2020年）	3月	副市長に甲山浩氏が就任
	4月	新型コロナウイルス感染症拡大により埼玉県内に緊急事態宣言発令
	9月	「愛藍タウン」のまちびらきを宣言
	11月	オンライン配信イベント「みんなで笑おう24時間ムジナもんch」を開催
令和3年（2021年）	3月	行田市と「一般廃棄物処理施設の共同整備に関する基本合意」を締結
	7月	羽生のムジナモ発見100周年記念講演会
	8月	東京パラリンピックの聖火となる火をおこす「羽生市採火式」を開催 MD Libraryグランドオープン
	11月	オンライン生配信イベント「オールキャラ感謝祭」を開催
令和4年（2022年）	4月	「羽生市気候非常事態宣言」を表明
	5月	河田市長が再選(5期目)
	6月	まちづくりアワード功労部門で国土交通大臣表彰を受賞
	10月	羽生市のりあいタクシーの実証運行開始
	11月	第11回「世界キャラクターさみっとin羽生」をイオンモール羽生で開催
令和5年（2023年）	4月	キャッセ羽生がリニューアルオープン
	10月	「はにゆうスポ・レクフェスタ」を初開催 バギオ市から青少年8名と大人2名が来羽
	11月	秋篠宮皇嗣殿下がさいたま水族館を御視察 第12回「世界キャラクターさみっとin羽生」をイオンモール羽生で開催
令和6年（2024年）	3月	羽生外野栗橋線バイパスが開通 副市長に小磯行男氏が就任
	11月	市制施行70周年記念式典を開催 第13回「世界キャラクターさみっとin羽生」をイオンモール羽生で開催
令和7年（2025年）	1月	ムジナモが野生復帰
	2月	河田市長が姉妹都市バギオ市を訪問
	3月	井泉小学校、三田ヶ谷小学校、村君小学校が閉校

資料：秘書広報課

2 主な公共施設等の一覧

※羽生市の市外局番は「048」です

施設名	所在地	電話番号
★ 市役所関係施設 ★		
羽生市役所	東6-15	(代) 561-1121
市民プラザ	中央3-7-5	560-3111
男女共同参画推進センター	中央3-7-5	561-1681
こどもひろば	中央3-7-5	561-7750
水道課	下羽生134	561-0969
下水道課(水質浄化センター)	大沼2-63	(代) 565-1551
清掃センター	三田ヶ谷1863	565-3979
汚泥再生処理センター	下村君1252	566-2200
斎場	東3-42-2	561-0436
農村センター	三田ヶ谷2277	565-3469
学校給食センター	藤井下組685	(代) 565-3010
(学 童 保 育 室)		
羽生南第1・第2学童保育室	南6-5-1	561-3599
羽生北第1・第2学童保育室	北2-1-1	563-5013
岩瀬第1・第2学童保育室	中岩瀬627-2	563-4365
新郷第1学童保育室	上新郷5716	561-1481
新郷第2学童保育室	下新郷1099	562-5130
川俣学童保育室	本川俣629	561-1070
羽生東第1・第2学童保育室	藤井上組270	577-3605
(保 育 所)		
第1保育所	中央1-3-23	561-3572
第3保育所	北2-5-22	561-1021
いわせ保育所	上岩瀬1797-1	561-9288
(文 化 ・ ス ポ ー ツ 施 設)		
市立図書館	下羽生948	(代) 561-8233
郷土資料館	下羽生948	562-4341
産業文化ホール	下羽生876	(代) 561-4911
ワークヒルズ羽生 (羽生勤労者総合福祉センター)	下羽生1014-1	563-5111
市体育館	東9-1-1	(代) 563-0150
キャッセ羽生(三田ヶ谷農林公園)	三田ヶ谷1725	565-5255
コミュニティセンター	中央2-8-10	562-0030

※羽生市の市外局番は「048」です

施設名	所在地	電話番号
中央公民館	中央2-8-10	562-1558
新郷公民館	上新郷5630-4	561-1013
須影公民館	須影714	561-0667
岩瀬公民館	上岩瀬2367	561-5070
川俣公民館	本川俣630	562-0321
井泉公民館	藤井上組275	565-1009
手子林公民館	下手子林805	565-2668
三田ヶ谷公民館	弥勒634-1	565-0040
村君公民館	下村君2227	565-3538
★ 警察 ★		
羽生警察署	東7-13-1	(代) 562-0110
羽生駅前交番	南1-1-62	561-1533
新郷駐在所	上新郷1837-11	561-1241
須影駐在所	須影712-2	561-1240
井泉駐在所	藤井上組170-3	565-3132
手子林駐在所	上手子林59-5	565-3131
千代田駐在所	弥勒1559-3	565-3136
★ 消防 ★		
消防本部	藤井下組990-1	565-1919
消防署西分署	上岩瀬718-1	561-8124
火災発生時の情報案内		565-2888
★ 郵便局 ★		
羽生郵便局	南1-3-2	561-3944
羽生新郷郵便局	上新郷1928-4	562-0062
羽生東町郵便局	東2-6-1	562-0065
羽生手子林郵便局	南羽生1-28-8	562-0064
羽生三田ヶ谷郵便局	弥勒1547-4	565-0051
村君郵便局	下村君2274-口	565-0050
★ 県の機関 ★		
さいたま水族館	三田ヶ谷751-1	565-1010
★ 国の機関 ★		
国土交通省利根川上流河川事務所川俣出張所	本川俣840	563-1992

※羽生市の市外局番は「048」です

施設名	所在地	電話番号
★ 学校 ★		
(小学校)		
羽生北小学校	北2-1-1	561-0058
新郷第一小学校	上新郷5716	561-0409
新郷第二小学校	下新郷1099	561-0778
須影小学校	須影672	561-0666
岩瀬小学校	上岩瀬1756	561-0803
川俣小学校	本川俣629	561-1006
手子林小学校	下手子林555	565-1069
羽生南小学校	南6-5-1	562-1901
羽生東小学校	藤井上組270	565-2320
(中学校)		
西中学校	羽生120	561-0161
南中学校	中岩瀬226	563-0253
東中学校	今泉1448	565-3741
(特別支援学校)		
県立羽生ふじ高等学園	下羽生320-1	560-2020
(高等学校)		
県立羽生実業高等学校	羽生323	561-0341
県立羽生高等学校	加羽ヶ崎303	561-0718
県立羽生第一高等学校	下岩瀬153	561-6511
県立誠和福祉高等学校	神戸706	561-6651
(大学)		
埼玉純真短期大学	下岩瀬430	562-0711
★ 鉄道 ★		
東武鉄道(株) 羽生駅	南1-1-62	561-0019
〃 南羽生駅	南羽生1-37	563-2457
秩父鉄道(株) 羽生駅	南1-1-62	562-4881
〃 西羽生駅	西5-32-2	562-4881
〃 新郷駅	上新郷1950-1	562-4881

※羽生市の市外局番は「048」です

施設名	所在地	電話番号
★ その他の機関 ★		
羽生市商工会	中央3-7-5	561-2134
ふるさとハローワーク	中央3-7-5	560-3001
(福)社会福祉協議会	東6-15	561-1121
保健センター	東7-5-2	562-1771
ほくさい農業協同組合	東7-15-3	561-6911
中央公園	東9-1-1	563-0150
(社)シルバー人材センター	南5-19-5	563-3680
農林公園事務所	三田ヶ谷1725	565-5255
一般廃棄物最終処分場	弥勒553-1	565-4355
羽生市岩瀬土地区画整理組合	中岩瀬588-1	563-0682
道の駅はにゆう	上新郷7066	560-1010
(集 会 所)		
須影集会所	須影708	563-1204
稲子集会所	稲子843-1	563-1198
桑崎集会所	桑崎724	563-0508
下岩瀬集会所	下岩瀬733-3	562-1839
西新田集会所	上新郷6284-1	563-0486
(保 育 園)		
いずみ保育園	藤井下組1013	565-2020
須影保育園	須影757	561-1029
(幼 稚 園)		
春山幼稚園	稲子37-1	561-1388
増子幼稚園	東2-4-41	561-0806
(幼稚園型認定こども園)		
認定こども園建福寺幼稚園	南1-3-21	561-2209
(幼保連携型認定こども園)		
きむら認定こども園	上手子林76-3	565-2114
とねの会こども園	上川俣87	561-6200
かなくぼこども園キラリ	北荻島430-1	565-3675

※羽生市の市外局番は「048」です

施設名	所在地	電話番号
(市外)		
埼玉県庁	さいたま市浦和区高砂3-15-1	(代) 048-824-2111
熊谷地方气象台	熊谷市桜町1-6-10	048-521-5858
熊谷年金事務所	熊谷市桜木町1-93	048-522-5012
埼玉県住宅供給公社 熊谷支所	熊谷市赤城町1-147-2	048-524-7963
利根地域振興センター	行田市本丸2-20	(代) 048-555-1110
行田県税事務所	行田市本丸2-20	(代) 048-556-5067
行田県土整備事務所	行田市長野943	(代) 048-554-5211
行田公共職業安定所	行田市長野943	048-556-3151
加須農林振興センター	加須市不動岡564-1	0480-62-1474
加須保健所	加須市南町5-15	(代) 0480-61-1216
東日本高速道路(株)関東支社 加須管理事務所	加須市北篠崎90	0480-61-4685

令和7年版 統計はにゅう

■令和8年2月発行

■発行 埼玉県羽生市

■編集 企画財務部企画課

〒348-8601 埼玉県羽生市東6丁目15番地

電話 048-561-1121(代)

FAX 048-563-2322

URL <https://www.city.hanyu.lg.jp>
